

志を受け継ぎ、志の実現 に向け、良心教育を展開

同志社大学長 八田 英二氏

本誌 同志社大学は、今年で創立一三七周年になりますね。

八田 本学の前身は、一八七五年に米国修学から帰国した新島襄先生が京都府顧問の山本覚馬氏などの協力により京都御所近くの寺町に開校した同志社英学校で、その後一九一二年に専門学校令による同志社大学一九二〇年に大学令による同志社大学が開校し、第二次大戦後の一九四八年に新制大学に移行、神学部、文学部、法学部、経済学部を開設しました。そして、翌年に商学部と工学部を新設し六学部となり、この六学部体制が長く続きましたが、二〇〇四年の政策学部開設を皮切りに、昨年のグローバル・コミュニケーション学部まで七学部を新設し、現在は一三学部になっています。また、来年四月にはグローバル地域文化学部を開設し、一四学部体制となります。

本誌 今出川校地と京田辺校地の再構築に取り組んでいますか。

八田 本学では、二〇〇二年に工業（場）等制限法が廃止され、学生を京都市内に回帰できる環境が醸成されたことや、二〇一〇年秋に同志社中学校が移転したことなどから、教育・研究環境の充実に向けて教学

体制の再構築に着手しています。これまでは学年の進行とともに勉学校地が変わる二校地体制でしたが、これを各学部・研究科の全学年の教育が、いずれかの校地で完結する体制に改めます。現在、

今出川キャンパスでは同志社中学校移転後の用地に新校舎「良心館」、京都市から産業技術研究所織維技術センター用地を譲り受け、今出川キャンパスの隣に新しく開設する烏丸キャンパスには新校舎「志高館」を建築しており、二〇一三年四月には教学体制の再編と文系学部の一、二、三次生の勉学校地の変更を終え、今出川校地は八学部一〇大学院研究科、京田辺校地は六学部六大学院研究科で編成されます。また、両校地の位置づけをより明確にして、それぞれの特色を強く打ち出し、今出川校地はゼミナールを中心とした専門教育を展開する文系学部の教育拠点と専門職大学

院や独立研究科を中心とする高度専門職業人の養成拠点、京田辺校地は理工系と文理融合学部が集積し実験・実習、フィールドワークを重視する複合的教育拠点を身体・生命、先端技術、情報に關しての国際的



今出川キャンパス

端研究拠点となります。

本誌 価値判断の基準をキリスト教に置いた教育を行っていますね。

八田 創立者の新島先生は一八八八年に「同志社大学設立の旨意」を全国の新報に公表しましたが、この旨意の中で新島先生はキリスト教に基づき教育により「良心を手腕に運用する人物の育成」ともいうべき人物の養成に向けた大学を設立したいという願いを記しています。本学ではこの精神を良心教育と呼び、建学の精神として受け継いできました。人に価値観を教えるには、何らかの思想、哲学がなければなりません。

本学はそれをキリスト教に置き、建

ましたね。

学の精神を実現するために、キリスト教主義、自由主義、国際主義を教育理念に大学教育を展開しています。また、科学知識が高度化すればするほど、それをどのように使うかという知恵が重要になってきますが、その知恵を教えるのが大学であり、本学では現代のグローバル社会にふさわしい知識、知恵、そして勇気を持った学生の育成を目指しています。

八田 本学では二〇〇九年七月にグローバル三〇に選定されたことから、グローバル化に対応できる人材の養成に向けて国際主義教育への取り組みを強化しており、二〇一〇年にグローバル・スタディーズ研究科二〇一一年にグローバル・コミュニケーション学部を開設、来年にはグローバル地域文化学部を今出川キャンパスに開設します。さらに昨年、英語で教授される科目のみで学位を取得できる国際教育インスティテュートも開設しました。このほか、国際主義教育に特色をおいた小学校と

して同志社国際学院初等部と国際部（インターナショナルスクール）も昨年開校しています。また、留学生の派遣、受け入れにも積極的に取り組んでおり、二〇二〇年に留学生受け入れ三五〇〇名、送り出し一〇五五名を目指しています。なお、今年誕生したグローバル・コミュニケーション学部は英語、中国語、さらに留学生を対象にした日本語の二コースを備え、国際人に求められる幅広い教養を身につけるとともに、多文化状況の中で起こりうる問題を解決し、国際社会で活躍できる人材の育成を行っています。

本誌 同志社という校名は「志を同じくする者が集まって創る結社」という意味ですね。

八田 本学はその名の通り、若者の志を重視する大学です。現在、社会に閉塞感が蔓延していますが、若者には「志を持って」と伝えたいと思っています。何年、何十年先に、こういうことをやりたい、そのために今は何をしなければならぬかを考えて欲しいのです。志を持って大学に入学し、その志を実現するための知識や知恵を身につけることに邁進してくれることを願っています。



八田英二（はった・えいじ）氏

1949年生まれ。1971年・同志社大学経済学部卒業。1973年・同大学院経済学研究科修士課程修了。1977年・同志社大学経済学部講師、カリフォルニア大学パークレー校大学院経済学Ph.D.コース修了。1979年・助教授。1985年・教授。1996年・経済学部長。1998年・同志社大学長に就任。2011年・学校法人同志社理事長に就任。

教育理念・「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」、学部・神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部、政策学部、文化情報学部、理工学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部、グローバル地域文化学部(2013.4開設)、学生数・28,642名（大学院含む）(2012.4.30現在)